

花きの物流効率化の取組

園芸農産課

本県の花き産出額は573億円（2022年）で61年連続日本一です。また、本県産花きの仕向け先別出荷割合は、県内が22%、県外が78%となっており（2022年、園芸農産課調べ）、全国各地へ出荷されています（図1）。

トラックドライバーの長時間労働是正のため、2024年度から時間外労働の上限規制が適用され、花き業界でも物流の効率化に取り組む必要があります。そこで、2023年度にJAあいち経済連が行った物流の効率化に資する取組を紹介します。

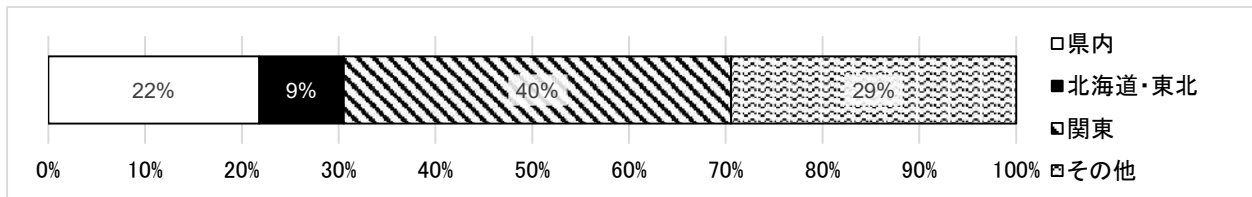


図1 花きの仕向け先別出荷割合（2022年）

1 取組の概要

事業名	持続的生産強化対策事業（ジャパンフラワー強化プロジェクト推進）
事業年度	2023年度
取組主体	JAあいち経済連
事業費	23,159,467円
事業内容	花き受発注システムを活用した業務効率化の実証
試験産地	JA愛知みなみ（輪ギク）、JA西三河（デルフィニウム）

<取組の背景>

花きの売上の安定的な確保には、数量と価格を予め決める相対取引の比重を高めることが重要です。しかし、JAが市場や実需者に注文内容（数量、価格）を伝達する手段は、FAXや電話が基本となっており、1件ごとに調整する必要があることから、受発注業務に時間がかかっていました。

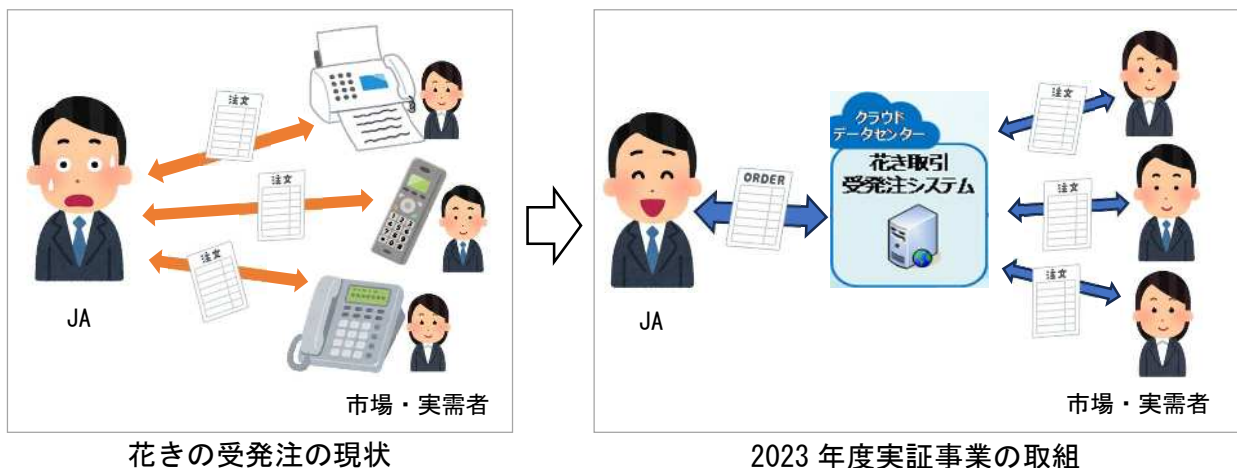


図2 花きの受発注の現状と2023年度実証事業の取組

<取組結果と効果>

産地と取引先間における受発注情報を一元化できる花き受発注システムを開発・導入し、輪ギク及びデルフィニウムの受注とりまとめ業務の効率化について実証を行いました。

システムでは、JAが入力した商品情報（図3）が市場へ伝達され、その情報に基づき市場が発注を行います（図4）。各市場が発注したデータをシステム上で集計するので、大幅な時間短縮につながります。

輪ギクではこれまで1日あたり50～60社からの受注を週3回取りまとめしていましたが、このシステムを導入したことにより、週当たり7.5～9時間を削減することができました。また、デルフィニウムでは、1回の受注につき30分かかっていた集計業務を5分に短縮することができました。

商品情報入力										
JA		部会		販売日						
愛知みなみ		輪ギク部会		2024/04/23(火)						
検索										
<div style="text-align: center;"> < 1 2 > </div>										
新規	出品	品目	色	商品	等級	階級	入数	口数	精算基準単価	商品備考
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	2L	160	0	80	
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	L	200	0	70	
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	M	200	0	65	
○	☑	キク	白	異花の白優	秀	S	200	0	50	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	2L	160	0	70	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	L	200	0	60	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	M	200	0	50	
○	☑	キク	白	異花の白優	優	S	200	0	40	

図3 商品情報入力画面

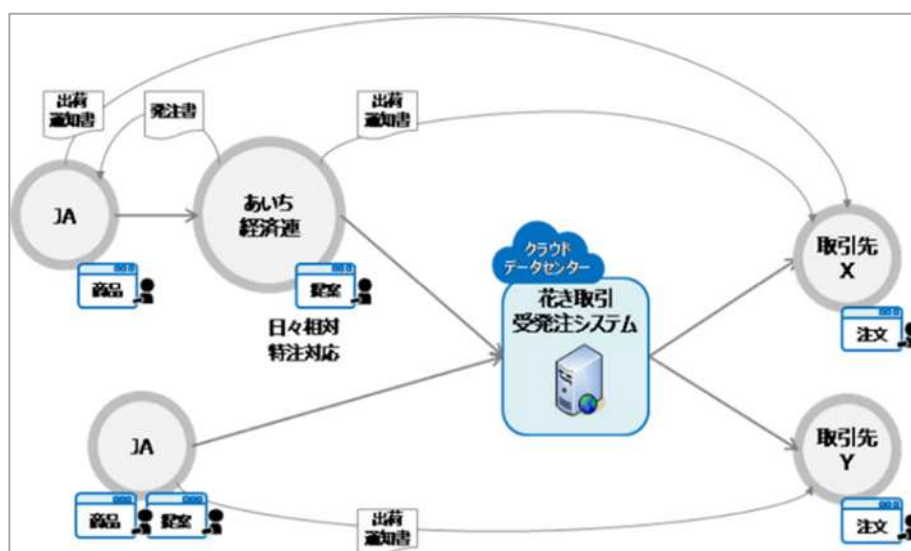


図4 受発注システムの流れ

<令和6年度以降の取組>

引き続き品目や取引先を拡大しながら実証を行い、規模を拡大しても受発注業務の効率化が確認できるか調査しています。